

ゆとりある豊かな住生活を実現する国民推進会議全国大会

大会宣言

住まいは、私たちの生活の基盤であり、地球環境との関わりも深く、社会的資産としての側面も有しています。しかし、わが国は経済指標の上では世界有数の水準に達しながら、未だ、住生活の面において豊かさを実感している国民は少ないのではないでしょうか。

また、当年三月十一日に発生しました東日本大震災では、多くの住宅が津波や倒壊等の被害に遭い、あらためて生活の基盤としての住まいの重要性、住まいにおける安全・安心の大切さを、多くの国民が強く認識することとなりました。

今こそ、この国に暮らす私たちが、さまざまな問題解決策とともに享受すべき真の豊かさの形を見つめ直さなければなりません。また、住まいの豊かさを実現することは、内需拡大を通して、日本経済の持続的な発展にもつながります。

今、ゆとりある豊かな住生活を実現するためには、次のようなことが大切であると考えています。

- 良質な住宅ストックと住環境・コミュニティの構築
- 災害に対する安全・安心の確保
- 良い住宅をつくり、きちんと手入れをし、長く大切に使う国民意識の醸成・住教育の充実
- 環境負荷の低減に資する住宅の省エネルギー化や長寿命化への取り組みによる地球温暖化防止と緑豊かな国土の形成
- 住宅の資産価値を高め、流通を促進する市場環境の整備
- 伝統文化の承継も含めた地域の住宅産業や住生活関連サービスの振興
- 福祉・医療政策との連携による高齢者や障害者等が安心して暮らせる住まい・まちづくり
- ライフスタイル・ライフステージの変化など様々なニーズに対応した多様な住まい方の実現
- これらを実現していくための技術開発の促進や税制・金融等の制度やインフラの整備

私たちは、これらの実現を通じて、国民一人ひとりがゆとりある豊かな住生活を享受できるよう、国民の皆様とともに相互に連携をとりながら活動していくことを宣言します。

平成二十三年十月三十一日